

秋田港アクセス道路 事業計画図



◇道路設計条件

計画延長 : L=6,120m
 事業期間 : H31~H41
 全体事業費 : C=145億円
 計画交通量 : 5,097台/日 (H42将来推計)
 道路規格 : 第3種第2級
 設計速度 : V=60km/h
 計画幅員 : W=7.0(10.0)m

【秋田港の情勢変化と機能強化】

- ・近年、**コンテナ取扱量の増大**、クルーズ船の寄港回数の増加など、秋田港を取り巻く情勢は大きく変化
- ・平成30年7月に「秋田港港湾計画」を改訂。情勢変化に対応した港の機能強化を図る

【秋田港と秋田北ICを結ぶアクセス道路整備の必要性】

- ・秋田港と秋田北ICを結ぶ**現況のルート**は、滞留長の短い踏切や鋭角な交差点があり**大型トレーラーの走行性に課題**
- ・また、渋滞箇所を通過するため、**定時性確保に課題**
- ・秋田商工会議所や港関係者から、アクセス道路整備の要望あり

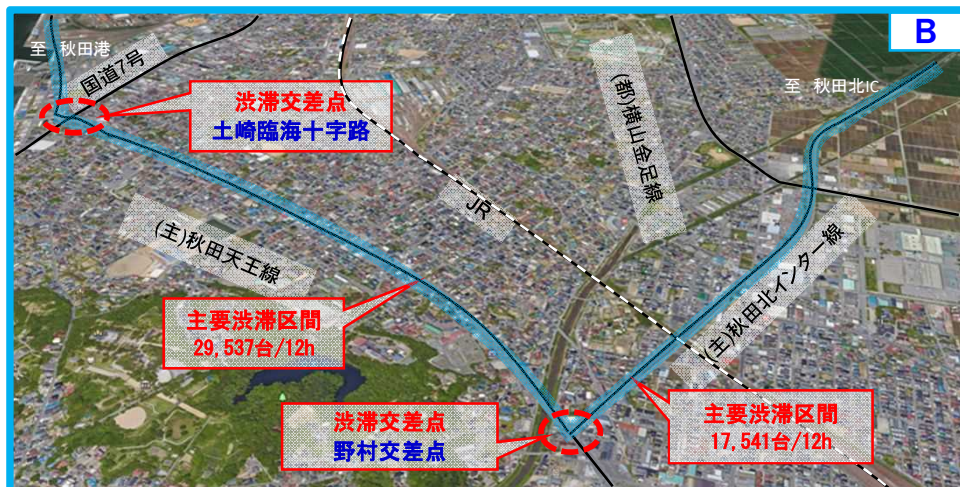
【秋田港アクセス道路の特徴】

- ・秋田港⇄秋田北ICを直結 : 国道7号・JRを立体交差。また、大型車の走行に配慮して車道幅員W=3.5m
- ・所要時間を短縮 : 秋田港⇄秋田北ICを約10分で接続 (現況ルートの約半分の所要時間)
- ・周辺環境への負荷軽減 : 沿道生活環境・交通環境に配慮して、家屋連坦地域を極力回避



【現況ルート①】延長≒10.7km、所要時間≒20分

- ・国道7号交差点～踏切間の距離は35mと短く、大型車2台の滞留が限度
- ・遮断時間は、1時間あたり7分14秒と長い



【現況ルート②】延長≒12.8km、所要時間≒26分

- ・大半は、住宅地・市街地を通過するため沿道生活環境への負荷あり
- ・主要渋滞区間および渋滞交差点を通過
 - ⇒秋田天王線 交通量: 29,537台/12時間、混雑度: 1.36
 - ⇒秋田北インター線 交通量: 17,541台/12時間、混雑度: 1.12

